



第93回 関東信越国税局酒類鑑評会 審査概況

令和4年11月9日

関東信越国税局

関東信越国税局酒類鑑評会は、酒類の品質評価を通じて酒造技術の進歩・発展を促し、当局管内で製造される酒類の品質向上を図り、酒類業の健全な発達に資することを目的として行われるもので、今回で93回目を迎えました。

《担当》

国税広報広聴室 報道係

電話:048-600-3111(内線 2043)

第93回関東信越国税局酒類鑑評会について

関東信越国税局酒類鑑評会は、酒類の品質評価を通じて酒造技術の進歩・発展を促し、当局管内で製造される酒類の品質向上を図り、酒類業の健全な発達に資することを目的として行われるもので、今回で93回目、第1回目の開催年から数えますと、57年目を迎えました。

当局の鑑評会は3部制で実施しており、193製造場から吟醸酒の部に139点、純米吟醸酒の部に171点、純米酒の部に88点の出品があり、9月28日及び29日に第一審の品質評価を、10月6日に第二審の品質評価を行いました。

審査の結果、吟醸酒の部において成績が優秀であった出品者について、最上位であった1場を「最優秀賞」、最上位に続く上位2場を「特別賞」、加えて50場を「優秀賞」に選定しました。同様に、純米吟醸酒の部においては、最優秀賞1場、特別賞2場、優秀賞54場、純米酒の部においては、最優秀賞1場、特別賞2場、優秀賞28場を選定しました。

令和3酒造年度は、昨年の夏が低温であった影響を受け、例年以上に原料米が柔らかく溶けやすかったことから、原料処理、麴造り及びもろみ管理等に高い技術が必要とされ、酒造りにとって厳しい状況でした。

このように酒造りには難しい年であったにもかかわらず、出品された清酒はいずれも香味が良く調和し、適切に貯蔵熟成され優れた品質を有したものが大多数でした。今回の結果から、改めて管内6県の各製造場における技術力の高さを確認するとともに、伝統的な技術だけでなく、新たな技術の修得にも真摯に取り組まれてこられた皆様の姿勢に心より敬意を表します。

各部門に出品された清酒の総評は、以下のとおりです。

吟醸酒の部では、吟醸香がとても華やかで、きれいで軽やかな味わいと上品な甘みを有するお酒が多く見受けられました。

純米吟醸酒の部では、多様な吟醸香に加え、甘味と酸味が調和し豊かな味わいを感じさせるものが多数を占めていました。

また、純米酒の部では、原料米由来のうまみと酸味がバランスよく感じられ、熟成し芳醇なものから淡麗できれいな味わいのものまで、多様な酒質のものが認められました。

改めて、関東信越国税局管内には数多くの銘醸地・銘醸蔵があり、地域や蔵の特徴を生かした高品質な清酒を生産しておられることを実感いたしました。

当局管内の清酒製造場の皆様の酒造技術の向上に対する熱意に敬意を表しますとともに、今後とも、関東信越国税局酒類鑑評会を通じて、管内の清酒製造場の酒造技術がより一層向上していくことを期待します。

第93回関東信越国税局酒類鑑評会審査概況

1 目的

酒類の品質評価を通じて酒造技術の進歩・発展を促し、当局管内で製造される酒類の品質向上を図り、酒類業の健全な発達に資することを目的とする。

2 出品部門

1製造場当たり、下記の各部門について1点まで出品可とした。

(1)吟醸酒の部

吟醸酒(令和3酒造年度に製造されたもの。純米吟醸酒を含まない。)

(2)純米吟醸酒の部

純米吟醸酒(令和3酒造年度に製造されたもの。)

(3)純米酒の部

純米酒(令和3酒造年度に製造され、精米歩合 61%以上のもの。)

3 出品状況

193の製造場から、吟醸酒の部に139点、純米吟醸酒の部に171点、純米酒の部に88点の出品があった。

なお、出品酒の県別内訳は別紙1のとおりである。

4 品質評価年月日

令和4年9月28日(水)、29日(木)に第1審を、10月6日(木)に第2審を行い、延べ3日間にわたり品質審査を実施した。

5 品質評価場所

関東信越国税局 鑑定官室

6 品質評価員

分析型品質評価に精通した公設酒造技術指導機関職員、県酒造組合技術委員、独立行政法人酒類総合研究所職員及び鑑定官室職員(詳細は別紙2のとおり)

7 品質評価法

全ての部門で品温を約20℃として品質評価を行った。

8 審査結果

審査の結果、全ての部においてそれぞれ1場が最優秀賞、2場が特別賞、加えて吟醸酒の部から50場、純米吟醸酒の部から54場、純米酒の部から28場が優秀賞を受賞した。

なお、受賞場は別紙3、最優秀賞受賞酒の詳細は別紙4のとおりである。

別紙1

第93回関東信越国税局酒類鑑評会出品状況

県名	出品場数			吟醸酒の部		
	第93回 (令和4年)	第92回 (令和3年)	増減	第93回 (令和4年)	第92回 (令和3年)	増減
茨城	18	18	±0	13	15	-2
栃木	21	19	+2	15	15	±0
群馬	16	15	+1	12	9	+3
埼玉	15	18	-3	13	15	-2
新潟	66	62	+4	56	55	+1
長野	57	55	+2	30	33	-3
計	193	187	+6	139	142	-3

県名	純米吟醸酒の部			純米酒の部		
	第93回 (令和4年)	第92回 (令和3年)	増減	第93回 (令和4年)	第92回 (令和3年)	増減
茨城	16	16	±0	6	7	-1
栃木	18	15	+3	12	12	±0
群馬	15	15	±0	9	8	+1
埼玉	11	11	±0	5	6	-1
新潟	57	51	+6	30	29	+1
長野	54	50	+4	26	27	-1
計	171	158	+13	88	89	-1

第93回関東信越国税局酒類鑑評会品質評価員

(敬称略)

	県名	氏名	所属	役職	
外部 品質 評価 員	茨城	武田 文宣	茨城県産業技術イノベーションセンター	技術支援部 フード・ケミカルグループ長	
		飛田 啓輔	茨城県産業技術イノベーションセンター	技術支援部 フード・ケミカル グループ 主任研究員	
	栃木	小坂 忠之	栃木県産業技術センター	食品技術部長	
		筒井 達也	栃木県産業技術センター	食品技術部 主任	
	群馬	櫻井 武	浅間酒造株式会社	代表取締役	
		島岡 利宣	島岡酒造株式会社	代表取締役	
	埼玉	横堀 正敏	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	食品・バイオ技術担当部長	
		樋口 誠一	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	食品・バイオ技術担当 専門研究員	
	新潟	金桶 光起	新潟県醸造試験場	場長	
		青木 俊夫	新潟県醸造試験場	専門研究員	
	長野	齋藤 良	長野県工業技術総合センター	食品バイオ部 主任研究員	
		高橋 祐樹	長野県工業技術総合センター	食品バイオ部 研究員	
			藤田 晃子	独立行政法人酒類総合研究所	品質・評価研究部門 副部門長
			五島 徹也	独立行政法人酒類総合研究所	業務統括部門 主任研究員
国 税 局		戎 智己	鑑定官室	鑑定官室長	
		大江 吉彦	鑑定官室	主任鑑定官	
		諸橋 一樹	鑑定官室	鑑定官	